

刊夕日二十二月二



定価 一月五拾圓 半年五拾圓 一年九拾圓
廣告 五拾圓 十拾圓 二十拾圓 三十拾圓 五十拾圓 六十拾圓 七十拾圓 八十拾圓 九十拾圓 一百拾圓
日曜祭日の翌日休刊
發行所 常磐毎日新聞社
印刷所 常磐毎日新聞社
電話 六二〇〇
印刷所 常磐毎日新聞社

常磐炭田の開發と

片寄平藏 [三]
山口彌一郎

3 彌勒澤にて炭層發見
それで平藏は九州の石炭塊を鑑定用にもらひ受け、燃える様な意氣と反面に是非あつて呉れ、

「それは一體何んでござひます。且那樣の御仕事なら、何んでもやります」

「それは一體何んでござひます。且那樣の御仕事なら、何んでもやります」

「それは一體何んでござひます。且那樣の御仕事なら、何んでもやります」

ばよいがどの不安な心を
持ちながら、江戸よりの歸途に着いた。

嘗つてくんのうこんは白水に出ると聞いたのを思ひ出し、白水は即ち泉であるよもや泉藩地内ではなからうかと言ふ疑も起り途中薄々泉藩地内に探りを入れてみたが、それらしい處も見當らず稍々不安氣に湯長谷藩地内磐崎村字藤原にかゝつた。そこで彼は高崎今造と會つた。今造は平藏と同村の大浦村字狐塚で當時若盛りの三十一歳、かねがね平藏に種々面倒を見られてゐる間柄で通常平藏を且那樣と呼んでゐた。田舎に於ての百姓も段々思はしくなくなり江戸にでも出て働いたら何んとかなるであらうとぼんやり江戸へ上る途にあつたのである。

「且那樣今御歸りですか

ないか。今造は全く狂氣の如く打ち喜ろこんだであらう。早速數塊をたづさいて湯本に報おそしと待ちくたびれてゐる平藏にも報をもたらしした。時は安政二年六月のことである。平藏はたゞちに江戸に上る明石屋に其の旨を告げ資本は明石屋で負擔するから先づたゞちに數俵江戸へ運んでみよと言はれた。

一冊の代金で
御希望通りな
五冊の雑誌が
自由に讀める
川崎巡回文庫
電六三〇番
(申込次第規則書進呈)

謝恩と
奉仕に
燃ゆる大塚へ……
靴!! 五圓以上一割引
● 斬新なるスタイル ● 堅牢極まる品質
● 精選された材料 ● 驚く可き廉價
既に覇權を確立せる……大塚の靴
平・田町
御用は 大塚製靴部
電話七十七番

明治廿八年設立
基礎堅實
有給社員數名募集
男女ヲ問ハズ奮闘家ハ來タレ
固定給及月收多希望者ハ午前中來
談アレ面會ノ上相談ス。
共保生命保險株式會社
磐城監督所
所長 福島健之
平町白銀町一〇
磐東代理店 主管 加藤 丈夫
平代理店 主管 金子 豊吉

● 店員募集 (一、二、三名)
十五、六才より十八才迄希望者は至急御來談
あれ
小力字式極東蒸氣製造元
小鍛冶兄弟商會
主 小鍛冶 永助
福島縣平町三丁目二二
電話 三三三番

耳鼻咽喉科専門
鈴木醫院
醫學士 鈴木 正男
平町田町(電話五八番)
藤田女學校前
自炊のお需めに應ず
入院の便あり

高久病院
院長 醫學士 高久 忠
副院長 新潟醫學士 赤羽 清
藥局長 藥劑師 佐竹 菊雄
平町田町 電話五一三番

内科小兒科
耳鼻咽喉科
外科花柳病科
レントゲン科

新築感謝
萬年筆大賣出
舊二日よ景り品呈上
記念金文字御名人無料
お氣に召す迄金ペン交換
五ヶ年絶對責任付
定價二圓以上
品種豊富
角 佐々木商店
平紺屋町角公園前
電話二三三番

賞勳局より 褒賞さるる

平町奇特者に

今回社会公共事業のため私財を寄附した平町の左記諸氏に對し賞勳局より褒賞あり近く傳達式舉行の筈

▲平町小學校基本財産に百圓宛寄附—平町加藤富三郎、同岡田千藏、同百澤才八郎、同鷲崎正見

▲平第二校備品費に二百圓寄附—平町辰野賢造

▲平第二校備品費に百圓—夏井村矢吹彌衛門▲平第三校生徒就學獎勵資金に百圓—平町平松茂▲平町費に五百圓宛寄附金成國

植林功勞

川前に金馬簾

川前村消防組では昨年中同村小學校所有林の植栽事業に全員が出勤し事業の完成を計つたので此程警察部長より金馬簾一條を授與された

忠勇の士

靖國神社に合祀

郡内の三柱

来る四月に『花の都』で行はれる靖國神社大祭に際し新たに護國の鬼として合祀される忠烈の將士につき第二師團司令部では先頃より管下全般に亘つて調査中であつたが此程終了二十日陸軍省に上申したが内本郡關係左の如し

△高久村近藤一 二等兵
△上小川國井次安一等兵

第二學力考査

平第二小學校では明日五學年以上の第三學期學力考査を行ふ

鮫川堰總會

二十六日に

石城郡鮫川堰普通水利組合では二十六日午前十時から三十六回通常組合會を開催九年度豫算八年度決算に就き協議する

四倉組頭會議

四倉署管内消防組頭會議は昨廿一日午前九時より同署内に開かれ退職組頭に銀盃授與

海底爆破の

振動で内臓出血

優秀潜水夫遂に逝く

江名町字仲ノ作漁港修築事務所の潜水夫千葉縣安房郡長尾村生れ當時小名濱町字米野居住堀内幸太郎(三)は昨廿一日午後四時頃同港海底に潜り岩盤の破壊作業中設置したダイナマイトが身邊近くで爆發した爲めその振動で内臓出血を起した外左足腰部を骨折して人事不省に陥り救助され直に平町上田病院へ運ばれ應急手當を受けたが同夜九時絶命した向原因に就いては目下平署で取調中であるが同人が海底の岩盤に火薬を装置し現場を離れてから船上の電気スイッチを入れて爆發せしめるのを船上のスイッチ係佐藤某との連絡が悪く此難遭つたものらしいと同潜水夫は日給四圓五十錢で縣下有數の優秀な腕を持つた潜水夫であつたと

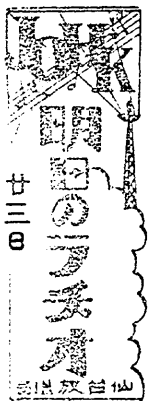
無慘な

女の轢死體

年齢廿八、九歳

身元が判明しない

本廿二日午前六時頃湯本町字八仙地内小野田炭礦専用鐵道線路に腹部を轢断され



天 今晩は南西の風 明日は西北の風 晴曇半す

今晚の部

後六、〇〇 子供の時間
名作物語「ガリガア旅行」
記一堀英四郎
後七、三〇 講演「オーストラリア」
動亂と國際
政一局信天淳平
後八、〇〇 獨唱 藤原義
の件その他を協議した

卒業生四名

實業公民校の

平商業學校内實業公民學校

たが身元が判らず原因其他不明である

政府買上米

全部納入合格

昨日平倉庫の検査

石城販賣利用組合平農倉庫では昨廿一日同倉庫内の政府買上應募米千俵の納入検査を行つた結果一俵八圓五十二錢を以つて全部納入決定したと尙當日行はれる筈であつた共同販賣入札は本廿二日に延期された

久留島氏が來郡

高齢者にお囃し

小名濱校の竣工祝賀

き東京より童話界の泰斗である久留島氏を招聘して全町の高齢者に興味多い講演をきかせると

裁判所たより

△双葉郡浪江町大字權現堂無職遠藤鶴松(三)同富岡町大字郡山字前澤農堀川吉之

明日の部
前七、〇〇 基礎英語講座
(二十一)岡倉由一郎
前九、一〇 料理献立「鰻ブレイ」朝倉長吉發表
前一〇、三五 家庭講座
「紫外線と都會」兒童ノ健康醫學博士宇都宮信夫
後〇、〇五 琵琶 常盤御前永田婉水
後二、〇〇 家庭講座「盲久の教育に就て」東京盲學校長片山昇
後五、三五 受験講座「和

文」英譯岡田實磨
後六、〇〇 子供の時間
お話谷村討論加賀山興定
後六、二五 言葉の講座
「ヤ行とワ行」神保格
後七、三〇 講演「軍縮難の背景」伊藤正徳
後八、〇〇 絃樂四重奏
鈴木クワレルテット
後八、二五 新内道中「膝栗毛」
栗毛浄子、富松志津、栗毛三味線富士松島太夫
後八、五〇 連続講談「小金原の仇討」終席 龍齋 貞山

平職業紹介所報告

回人を求める方
△外交員 三十前後 高卒
給料面談
△外交員 三十迄 高卒
給料面談
△鮮魚雜夫 三十以下 尋
卒 月十圓 外面談
△商店雜役 三十迄 尋卒 年百圓
回職を求める方
△事務員 十九才 商業卒 給料面談
△小使 二十五才 尋卒 給料面談
△給仕 十七才 高卒 給料面談
△小使 三十四才 尋卒 給料面談
△事務員 二十八才 高卒 給料面談

銘劍秘又録

【禁無斷轉載上演映畫】

寶馬琴演
山本英春畫

第百六十三回 徳川家に崇る村正

一寸の際に見失ふ

八丁堀の同心鈴木重太郎が次の間から様子を窺つてゐるとも知らず、廣間の五人連れの武士は飲みよ唄へよと騒いでゐたが

○「サア各々この位にして此處を引き上げ吉原へ行つて、馴染の女を喜ばしてやらうでは御座らぬか」

○「そうだ、それが宜いな」

女「オヤもうお立ちでございませうか、吉原へ行くにはまだ早いではございませうか」

○「イヤこれより参つて仲の町の茶屋へ行つて、一騒ぎするのだ」

女「成程それも亦宜しうございませうね」

○「サア早く勘定をしてくれ、それから駕籠を五挺詔らへて貰ひたい」

女「畏りました、有難うございませう、又どうぞ近い内にゐらつしやつて下さいませう」

○「オウ又来るぞ」

隣の客は吉原へ行くと言ふから、重太郎は自分も駕籠を一挺頼み、何時でも後を尾けられるやうにして、つてゐる。その内に、ドヤ

見失はぬ程度でやれ、自分は御用の者だ」と、幾分かの手當をやるからか、屋二人も心得て、その後から見えがくれに付いて行く、やがて参つた大門口、五人連はモウかごを下りて、仲の町を真直ぐに

大勢の女達に送られて五人連は玄關から駕籠に乗り、藏前橋の方を指して飛んで行く、頃合を見計ひ重太郎も駕籠に乗り、その後を追つて行く事になつたが駕籠屋に言ひ含めて源「五挺のかごに近寄らず



何か高聲に話しながらブラリと行く、重太郎もかごを歸して、仲の町の茶屋で騒ぐと言つたが、何處へ上るのかと思つてゐると何處へも寄らない、角町の角から曲つて兩側の張見世をからかひながら行く、人混みになつてから重太郎は段々近付いて先方の様子を身分あるものに見えろが、その言ふ事の下卑である事一通りではない、愈々これは怪しいと思つてゐると、秘密のある者の常として折々振り返つては左右を見廻す、源「之にいけぬ勘付

草を喫つて返し、五人は如何にと見るとツイまだ二三軒先に女をからかつてゐる

重「拙者は八丁堀の役人だが追込みがあつてこれまで参つたが、取逃してはならぬのだから放せ」

男「ヘエ御冗談で」

重「冗談ではない、懐中をヒョイと若い衆が懐中を見ると成程朱房白磨きの十手が一寸見えた、

男「イヤこれはどうもとんだ粗忽で、且那様の様子か變つて居りますので」

重「それ故咎めは致さんから早く放せろ」

男「畏まりました、エ、花魁衆、いけません、且那衆で……」

女「エ、ツ且那衆」

女郎は吃驚して袖をはなす「どうぞ御勘辨を」といふ聲を聞き流して、急いで角町から水道尻の方へ行つて見たが、何處かの家へ登樓つたか、それとも亦仲の町の方へ出てしまつたか、影も形も見えない。

見失はぬ程度でやれ、自分

かかれてはならん」と思つたから重太郎と一軒の格子口へ寄つて行くこと立つて来た一人の遊女が、

重「コレ若い者耳をかせ」

男「ヘエ、何んとも御相談に乗りますでござい

花柳外科 木村外科専門院

本院は有り觸れた白濁油系統の平凡薬でなく、独自の注射原薬を主剤とし外に洋薬及漢薬数種の特効成分と利尿薬が配合され特に胃腸腎臓障害等の副作用を絶無ならしめた安全薬で又錠剤で有ります。

理想の治淋薬出現す

一般官薬、熱療器類に不満を感じた患後の良薬として本薬を紹介いたします。

◎本薬は有り觸れた白濁油系統の平凡薬でなく、独自の注射原薬を主剤とし外に洋薬及漢薬数種の特効成分と利尿薬が配合され特に胃腸腎臓障害等の副作用を絶無ならしめた安全薬で又錠剤で有ります。

平町五丁目 橋目九

電話 三三九〇

配合原薬注射内服殺菌強力

ガロス

淋病 消渴 強効

分用 症用 重症用

¥2.00 ¥3.00 ¥5.00

特約店 阿部薬舗

平町五丁目(松月堂向イ)

◎發賣元不二薬品商會

吉田眼科病院

眼科専門 院長 吉田 安雄

醫學士 吉田 久雄

理想の治淋薬出現す

一般官薬、熱療器類に不満を感じた患後の良薬として本薬を紹介いたします。

◎本薬は有り觸れた白濁油系統の平凡薬でなく、独自の注射原薬を主剤とし外に洋薬及漢薬数種の特効成分と利尿薬が配合され特に胃腸腎臓障害等の副作用を絶無ならしめた安全薬で又錠剤で有ります。

平町五丁目 電話 六八八

日本一の三鱗豆炭

最も新しい燃料……三鱗豆炭の御試用を願ひます

火附のよい事木炭同様 (専用器具不用)

燃料費は各種燃料の三分の一

……炊事場、料理店に最適

三鱗豆炭海岸線一手販賣元

大谷石販賣店 住吉屋セメント店

酒井 伴 城

平野前(電話六六一番)